



平成19年度文化庁芸術団体重点支援事業

狂言 文荷 善竹 隆司

ごあんない

西村 聰

面／悪尉
鞨鼓
(金剛家藏)

廣田 幸穂
Hirotaka Yukitoshi

Aya no tsuzumi

綾 織 祇 敷



第九回廣田鑑賞会能 平成十九年十月七日(日)

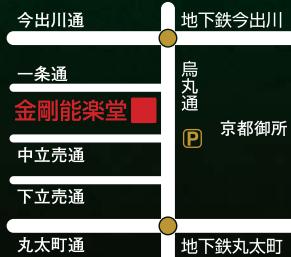
午後一時三〇分始曲

◆料金／【一般】8,000円 【会員】7,500円 【学生】3,000円

◆主催／廣田鑑賞会 ◆指導／宗家 金剛永謹 ◆後援／金剛会・京都新聞社

会場 金剛能楽堂

TEL. 075-441-7222
京都市上京区烏丸通一条下ル龍前町590-1



第九回 廣田鑑賞会能

午後一時半始曲 金剛能樂堂

ご挨拶

いつも廣田鑑賞会にご支援をいただき、ありがとうございます。

今回は当流では中伝の重い扱いである「綾鼓」を演じます。卑賤老境の身でありながら、高貴な女御へ恋をし、報われない想いの後に、さらには怨靈となる老人がシテです。いかにも人間臭い老人を写実的に演じるだけでは、能として魂の想いが伝わりません。それがこの曲の難しさでもあると感じています。狂言は、同じく恋を扱った「文荷」をお楽しみいただきます。ごあんないには能樂がご専門である金沢大学教授西村聰氏に、お願ひをいたしました。お忙しい時期とは存じますが、秋のひとときを金剛能樂堂でお過ごしいただけたら幸いです。ご高覧をお待ち申しあげております。

平成十九年 葉月 吉日

廣田 幸穂

狂言 「文荷（ふみにない）」

太郎冠者と次郎冠者は主人に恋文の使いを頼ますが、どうも気が進みません。お互いに役を押しつけあいながら道中を行いますが、気のせいいか文が重たく感じられます。どうしても恋文の中身が気になり、我慢できずにこうそり開けてみると「恋し 恋し」と書いてあります。なるほど「小石 小石」と小石がいっぱいあれば重たいはず、などと奪い合つて読むうちに大事な恋文は破れてしまします。さて、その先はどうやって文を送り届けようとしたのでしょうか。能「綾鼓」の類曲、「恋重荷」を題材にしています。

◎午後二時三十分始曲

◆番組

狂言 文荷

善竹 隆司

上吉 隆平
善竹 忠一郎

ごあんない

金沢大学教授 西村 聰

狂言 文荷

善竹 隆司

上吉 隆平
善竹 忠一郎

ごあんない

金沢大学教授 西村 聰

能 綾鼓

宇高 龍成
廣田 幸穂
福王 和幸
間 善竹 忠一郎

谷口 有辞
林 光寿
前川 光範
左鴻 泰弘

廣田 泰三
金剛永謹
廣田 泰能

柴田 良平
今井 克紀
豊嶋 幸洋
豊嶋 晃嗣
松野 恭憲
種田 道一
掛川 昭二
前川 光範
左鴻 泰弘

◎午後四時頃終了予定
都合により内容を一部変更する場合もございます。



廣田 幸穂 (ひろた ゆきとし)

金剛流シテ方先代および当代宗家・
金剛永謹と父陞一に師事
重要無形文化財保持 金剛会理事
京都市芸術新人賞 文化庁芸術祭新人賞

（次回公演予定）

第10回 記念廣田鑑賞会能 平成20年5月11日(日) 午後1時半始曲 能「鱗形」廣田幸穂 狂言 解説 天野文雄
第11回 廣田鑑賞会能 平成20年10月5日(日) 午後1時半始曲 能「定家」廣田幸穂 狂言 解説

菊之会

平成19年12月9日(日) 午後2時始曲 能「忠度」廣田泰能

FAXにても、ご予約を承ります。 廣田鑑賞会 **075-722-9123**までご送信ください。 切符は当日受付にて、お引渡しとなります。

《第9回 廣田鑑賞会能 申し込み》

■お名前

■ご住所

■お電話・FAX

■一般券（8,000円） 枚 ■学生券（3,000円） 枚

会員入会（第9回、第10回 年2回公演分）会員7,500円（年会費 15,000円）

※ □内にチェックして下さい

チケット取扱所

●ローソンチケット(Lコード 53311) ●金剛能樂堂075-441-7222 ●京都新聞社文化センター
●檜書店 ●京都会館プレイガイド 075-771-6056 ●廣田鑑賞会 075-722-9123